

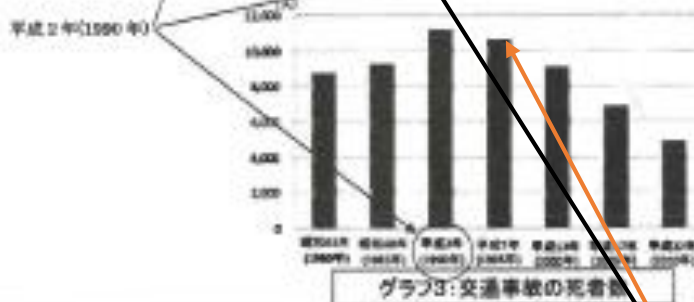
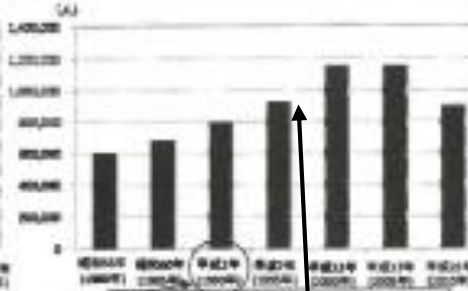
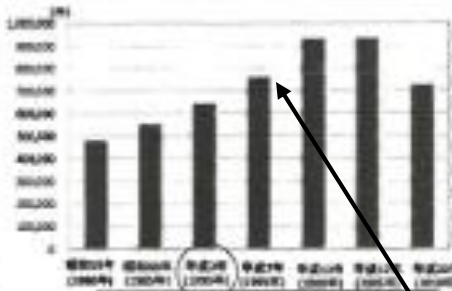
週末課題の解説「単に資料から情報を取り出すだけでなく…」

本部小学校週末課題 高学年「スペシャル」

次の文章とグラフを読み、あとの問いに答えなさい。

次に示すのは、警察の事故資料をもとにつくられた交通事故の発生件数、負傷者数、死者数のグラフと、この3つのグラフを見て、交通事故の死者数が他よりも早く、平成2年(1990年)から少なくなっていることについて、高校生が行った話し合いの一部です。

発生件数 …… 物事(交通事故)が起こった回数      負傷者数 …… けがをした人の数



Aさん: 交通事故の死者数が他よりも早く、平成2年(1990年)の後に少なくなっているのは、交通事故に対するみんなの考えが変化したからだと思います。その裏付けとなる資料として、「交通の区でつかまった人数の変化がわかる資料」があるとよいと思います。その資料を見れば、飲酒運転やスピードい速など、死亡事故につながるような重大ない区割合が少なくなっていることがわかるはず

Bさん: 私は、この30年間で売られてきた自動車の数と安全性に関係があると思います。つまり、売られる自動車の数は年々増えているので、事故件数と負傷者数はなかなか減らなかつたけれども、

(ア) ということですが、その裏付けとなる資料として、最近30年間の「車の売られた数の変化がわかる資料」と、「車の安全のためのいろいろな装備がわかる資料」があれば、このことがわかると思います。

- ※ 裏付け(うらづけ) …… うらづけること。たしかに証拠(しやうこ)。
- い度(いはん) …… やくそくや決まりなどにそむくこと。
- 装備(そうび) …… ふぞく品をそなえつけること。また、その物。

問い Bさんは文章中の□でかこんでいる「つまり」以下で、どのような内容を表したのでしょうか。(ア)にあてはまる内容を40字以内で書きなさい。

(6)年(2)組(36)番 名前(友界 真那)

車の安全性能が高くなつたので、死者数は年々減っている

ポイント

事故件数と負傷者数は「減らなかつた」けれども

「車の安全性能が高くなつた」という考え(意見)を、「その裏付けとなる資料」より予測しなければなりません。

本問題における【評価すべき具体的な能力】→ 「得た情報を基に物事を推し量ったり予測したりする力」